

役立つ!

滋賀県の中小企業のための広報誌



滋賀でチャレンジし続ける
中小企業の皆さまに
読んで楽しく、身近で役に立つ
情報をお届けします。



UCHI KOCHI

Uchide no
Koduchi

Vol.
75

令和6年6月発行



元気企業訪問

2P サイチ工業株式会社

4P 東洋化学株式会社

6P 魚繁大王殿

起業家魂

8P サウンド・オブ・グリーン株式会社

プラザゼミナール

10P 「人的資本経営」とは?

しがのミカタ

12P 学校法人立命館

トピックス&インフォメーション

14P 滋賀ものづくり企業 受発注マッチングサイト
中小企業の CO₂削減取組 副業人材の紹介

16P イベント・セミナー案内



公益財団法人
滋賀県産業支援プラザ

表紙写真: 大木山 石山寺
(写真提供: (公社)びわこビジターズビューロー)



3m 幅連続真空蒸着装置

他社に先駆けて導入した、この3メートル幅蒸着機の活用には、我々の蒸着技術だけでなく、装置メーカーのノウハウと、これに見合うフィルムを生産・供給できる素材メーカーの存在が不可欠です。ともに手を携えて進める取引先と、我が社を信頼して次々と要求をくださるお客

様の存在が、我が社をより強固にしてくださっています。

産業支援プラザとの関わりは？
我が社は①金銀糸、②食品包装、③生活雑貨、④電子機器の4分野の事業を進めてきましたが、次の分野への開拓を考えていたところ、産業支援プラザの助けを得て、2021年サポイン事業（現・Go-Tech事業）に採択されました。タイトルは「世界初・ドライ・ウエット複合プロセスによる高耐久・高信頼性電磁波遮蔽車載用シールドフィルム技術の開発」です。

申請にあたり、テーマ発掘から事業計画書の書き方まで、産業支援プラザには手取り足取り



<PROFILE>
サイチ工業株式会社
■代表者／代表取締役社長 山本 彰
■従業員／227名
■所在地／【本社工場】滋賀県大津市平野3丁目1番11号
【オフィス】滋賀県草津市野路1丁目8番23号 I.O.Rビル2F
■創業／1907年
■新法設立／2004年
■事業内容／金銀糸の製造販売（国内・輸出）および真空蒸着製品、各種コーティング製品の製造販売（国内・輸出）
■TEL／077-561-9811（オフィス）
■URL／https://saichi-kk.co.jp/

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 イノベーション推進課
☎ 077-511-1414 ☎ 077-511-1418

真空蒸着機の導入要請がありました。1.5メートル幅から3メートル幅にするのは、一見簡単なことと思えますが、蒸着フィルムの品質を考慮すると、難易度の高い要請であることはすぐにわかりました。しかし経営にあたっては父と兄（現会長）の二人とも大変向きな考え方でしたので、蒸着機メーカーに当時最大級の3メートル幅の機械を発注したのです。



食品包装(上)と生活雑貨(下)の製品



パソコンなどのICT機器

業界を見渡しても非常に高度な技術を保有していると指摘され、これが大きな励みになりました。

滋賀県の中小企業へのメッセージは？
現在の、時代の変化や多様化するニーズに対応した我が社の製品開発への意欲は、産業支援プラザによるヒアリングがはじめの一歩でした。正直、私自身も、昔は何をしてくれる所なのかよく知りませんでした。が、伴走支援は心強く、皆さんにもこんなことでも相談してみたいことをおすすめします。

* 成長型中小企業等研究開発支援事業(GO-Tech事業)
中小企業等が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、研究開発及び事業化に向けた取組を、最大3年間支援する事業

元気企業訪問

サイチ工業株式会社

代表取締役社長

山本 彰さん

やまもと あきら



百年にわたり伝統産業を支える金銀糸から
先端ICT機器のカギを握る重要部品まで
他の追随を許さない、真空蒸着技術の老舗

近江和紙の里で、京都・西陣織に使われる金銀糸の材料和紙を漉いてきた山本佐市商店。やがて金銀糸の素材は和紙からプラスチックフィルムへ移行する。サイチ工業と社名を改め、より高品質を求めて導入した真空蒸着機が転機となり、食品包装材料が製造品目に加わった。空気や光を通さないアルミ蒸着フィルムの需要は一気に高まり、多様な生活雑貨から電子部品にまで拡大する。伝統産業から最先端モバイルまで、真空蒸着の未来への挑戦は続く。

会社の沿革と事業内容は？
サイチ工業の「サイチ」は、私の祖父・山本佐市の名前に由来しています。創業は1907年、祖父が大阪・上田上の地で手漉き和紙製造を始めました。京都・西陣で使われる金銀糸の台紙となる雁皮紙を漉いていたのですが、その後合成紙が主流となってくると、台紙だけでなく金銀糸そのものを一貫製造するようになります。やがて機械化を図り、1971年に栗東工場を新築しました。会社を継承していた父は、紙でなくプラスチックフィルムにアルミ蒸着

を施せば金銀糸製造を一気に効率化できると確信していました。が、高価な真空蒸着機の導入には迷いがありました。そんな時は取引先の金融機関から背中を押され、導入を決断したことが我が社の大きなターニングポイントだったと思います。

真空蒸着機の導入後、プラスチックフィルムを生産するメーカーとの取引が始まりました。互いに未知の分野で手探りでしたが、各々チャレンジ精神を發揮し、試行錯誤の末に生産は軌道に乗りました。まもなく、金銀糸だけでなく食品包装材や雑

貨へと製造品目が拡大していったのです。

食品包装材、生活雑貨の具体例は？
空気や湿気を通さないのが食品包装に適しています。ポテトチップス等スナック菓子の袋、レトルトパウチ、飲料パック。また保香性、遮光性があるのでシャンプーや洗剤の詰め替えパックにも有効です。蒸着フィルム製品は世の中に一気に広がっていきました。

こうして我が社でも生産量と製造品目が増え、従来の最大1.5

メートル幅の真空蒸着機では要求数量を満たせなくなりました。すると取引先のプラスチックフィルムメーカーから、3メートルのフィルムロールに対応した



西陣織に使われる色とりどりの糸

代表取締役

岡 幸一さん

お か こう い ち



「体に貼る」製品をつくり続けて50年
人々の健康を支える身近な存在「絆創膏」を
高機能・高品質へ進化させるトップメーカー

ドラッグストアにずらりと並ぶ絆創膏。サイズや用途、効能が多様になり、選ぶのにもひと苦労。多くの製品が競い合う分野でひときわ目立つのが、「目立ちにくい」がセールスポイントの「キズクイック® fit」だ。製造しているのは市販向けハイドロコロイド絆創膏を素材から製造できる日本唯一のメーカー、東洋化学株式会社。突出した発想と技術が生み出す製品は、市場のニーズをピンポイントで満たし続けている。



「グッドデザイン賞」、[「発明大賞考案功労賞」を受賞した「キズクイック® fit マルチフィットタイプ」。肌にフィットしやすいドローン型の形状が特徴的

「会社の沿革と事業内容は？」
1959年、私の父が岡薬品工業社という貼り薬をつくる個人事業を始めたのが最初でした。もともと父は、肩が凝った時などに貼るメントール含有の消炎剤をつくる会社にいたのですが、倒産してしまい、自分で会社を立ち上げたのです。1968年頃から救急絆創膏の製造を始めました。当時は配置薬（置き薬）が主流で、家庭の薬箱に入っておけばほとんど消費され、父の言葉を借りれば「作ったら作った分売れる」状況でした。1974年に東洋化学株式会社

として法人設立し、現在に至ります。父はモノづくりが好きで、四六時中開発アイデアを考えていました。絆創膏の業界というのは日進月歩で、次々と新しいタイプの製品が生産されていますが、父は新しい素材を見つけたら、機械のしくみを考え出したりすることに長けており、「これからどんな絆創膏が売れるか」という動向を見越していました。そうした進取の精神は今なお当社に受け継がれていると自負しています。

「ハイドロコロイド絆創膏とは？」
昔は切り傷や擦り傷などの怪我をしたら、消毒し、乾かし、かさぶたができるのを待ち、そのかさぶたが自然に取れるのを待つという順序で治していきました。しかし、最近では、湿潤療法の考え方が一般的になってきました。傷口をよく洗い、湿った状態のまま空気に触れないように覆うことで、より早い治癒を促すというものです。ハイドロコロイド絆創膏はその湿潤療法に一役買う効果的な絆創膏です。最初は米国の企業製品が店頭に並び、従来品に比べて高価

格にもかかわらずよく売れました。そこで、日本国内の各社も輸入して加工し、販売を始めたのです。しかし、私たちはハイドロコロイド絆創膏を自社で一つ一つ上り上げることを目標に研究を続け、膏体製造技術の確立に成功しました。市販用ハイドロコロイド絆創膏を一貫生産しているのは国内では弊社だけです。膏体、基材、加工法すべてオリジナルですので、薄さや柔らかさ、目立ちにくさやフィット感を追求した、サイズや形状に工夫を凝らした製品をつくることができます。

「たとえば、どんな製品？」
「キズクイック® fit」は、ハイドロコロイド絆創膏として効能効果を高く評価されています。より薄くしたことで、より皮膚になじみ、剥がれにくくなっています。

「キズクイック® fit」は、ハイドロコロイド絆創膏はかなり分厚いので、比較していただくとうっかります。その薄さに加えて、より目立ちにくさを追求した「キズクイック® fit マルチフィット

タイプ」「キズクイック® fit 水仕事用」が「2023年度グッドデザイン賞」を、ならびに「キズクイック® fit マルチフィットタイプ」が「第49回発明大賞考案功労賞」を受賞しました。



グッドデザイン賞の賞状

数あるアイデア製品の一部



ハイドロコロイド絆創膏

プロ仕様絆創膏

指関節用テーピング

口閉じテープ

今年、会社設立50周年を迎えましたが、これまでの蓄積を礎に技術力を駆使し、より高性能な絆創膏をつくることで社会に貢献していきたいと考えています。

「産業支援プラザとの関わりは？」

まさにその「発明大賞考案功労賞」受賞に際しては、産業支援プラザの担当者に助言をいただきました。応募の際に製品の特長を文章にして説明しなくてはなりません。弊社の製品開発担当者との視点による技術的な側面からのアプローチでなく、顧客視点すなわち「目立ちにくい」という機能を打ち出そうと提案くださいました。製品を卵に貼った写真を添付するなど、ユニークなアイデアもいただきました。

この受賞は大変誇らしく、全社員の励みになりました。何よりも、接客業や人前に出ることの多い業務に従事する人たちの大きな味方となり喜ばれていることが嬉しいです。

また昨年、弊社技術部を、滋賀県工業技術総合センターのレンタルラボから、産業支援プラ

「東洋化学株式会社の今後は？」

産業支援プラザには過去に、サポイン事業（現・Go-Tech事業）に採択されておこなった研究開発においてもお世話になりました。ご支援の甲斐あって開発技術は確立しており、引き続き製品化を模索しているところ

です。消費者が製品を間違わずに選択し、より効果的に使用するためのパッケージや説明書の工夫などにも、いっそう力を入れていく所存です。東洋化学は

<PROFILE>

- 東洋化学株式会社
- 代表者/代表取締役 岡 幸一
- 従業員/88名
- 所在地/【本社・工場】滋賀県蒲生郡日野町大字寺尻1008番地
【技術部・くさつラボ】滋賀県草津市野路東7丁目3-46
滋賀県立テクノファクトリー 5号棟
- 創業/1959年
- 設立/1974年
- 事業内容/医療機器・医薬部外品の製造販売、医薬品・化粧品・衛生用品の販売、その他関連製品の販売
- T E L / 0748-52-5000 (本社)
- U R L / https://www.toyokagaku.com/



問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 イノベーション推進課
☎ 077-511-1414 ☎ 077-511-1418

* 成長型中小企業等研究開発支援事業(GO-Tech事業)
中小企業等が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、研究開発及び事業化に向けた取組を、最大3年間支援する事業

元気企業 訪問

日本料理・湖魚料理 魚繁大王殿 うおしげだいおうでん

二代目 岩崎 勝さん いわさき まさる



一般向けと同じ食材で調理された嚙下食の料理

琵琶湖の恵みを、県民の郷土愛につなげ、
嚙下食会席料理で家族愛を育む
「料理人のできることは、まだまだあります」

魚繁大王殿には玄関が二つある。一つは、入ると和モダンなインテリアと風格あるカウンターが目飛び込む。もう一つは、車椅子でのアクセスが可能なバリアフリーのエントランス。コロナ禍の時期に思いきって長期休業を決定し、増築・改修をしたことが功を奏して現在、老若男女さまざまな世代がカップルで、家族で、団体で魚繁大王殿を利用する。「美味しい料理屋というだけでは生き残れない」。現当主の弛みない努力と飽くなき挑戦が続く。

―店の創業・沿革と事業内容は？

1970年、「寿司屋魚繁」として私の父・岩崎繁が創業しました。最初はカウンター5席程度の小さな店からスタートしたそうです。琵琶湖の魚介と外海の新鮮な魚を仕入れ、父の寿司屋は定評を得て、一時はいくつもの店舗を構えるほどでしたが、現在は現店舗に集約し、名称も「魚繁大王殿」に改めました。私

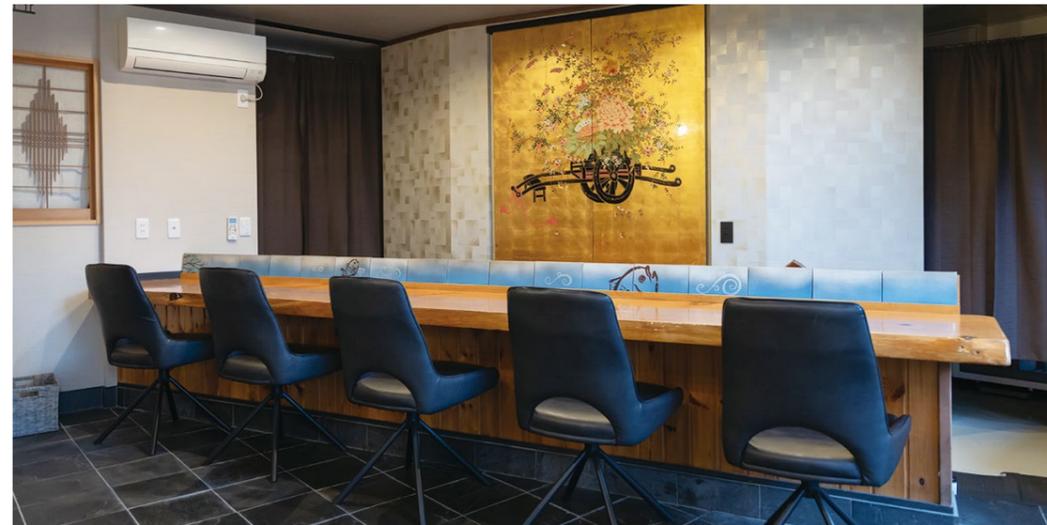
―います。

数年前父が体調を崩した時、より食べやすく飲みみやすい料理を、と考えて嚙下食を研究し始めました。その後、良くも悪くもコロナ禍が契機となって、現店舗の増築・改修を決定し、その工事期間、私は病院食をつくる会社に勤めて徹底的に嚙下食を学びました。工事を終えて2022年9月、新装オープンし、「和食で客の夢を叶えたい」との思いで名付けた「嚙下食叶和」というブランドをスタートさせました。

―嚙下食の需要は？

嚙下食の売上は、まだ全体の1割程度です。しかし、メディアに取り上げられて以来、反響が高まり、嚙下に難のある高齢者が先頭に立たねばならぬという危機感だけはもっていたので、「滋賀県よろず支援拠点」を訪ねました。とにかく何を質問したらいいかわからない状態でしたから、言われたことに全部トライしました。

車椅子のまま入室できるバリアフリーの店内



1階入口付近のカウンター席。太郎坊宮の龕でこだわりの料理を味わいながら、特別な時間を過ごすことができる。

伝統和食、郷土料理、地元食材を、五感でしっかりと楽しんでいただきたい。「嚙下食叶和」を始めてから、店は長寿祝いの宴会利用が増えました。つい最近も、お客様の88歳を祝う盛大な誕生日会を当店で開催くださったのですが、親族総勢30人、皆さんが店内をデコレーションされ、お母様が車椅子で入店されると同時に「ハッピーバースデー」の歌を合唱されました。食事は、お母様には嚙下食ですが、見た目も香りも皆同じ会席料理。お母様もご家族も同じ食材を楽しめることがとても嬉しそつで。従業員もそんな場を提示できたことが嬉しくて、一緒に感動したものです。

―琵琶湖の味覚を生かした商品開発とは？

私の幼少の頃は、琵琶湖の食材が毎日必ず食卓に上がっていました。佃煮であったり煮物であったり。それが今では何ひとつなく、「琵琶湖の魚って食べられるの?」と言われるありさまです。これが滋賀県民の認識だとしたらあまりに悲しい。とはいえず、実際、魚の個体数が減ったり、

従事する漁師も減ったりして、食べる機会が少ないのも現状です。ですから、少しでもその味を楽しめる調味料として、琵琶湖八珍に選定されているホンモロコを使っただし醤油「もろこ隠れ」などいくつかを開発してきました。このようなどし醤油なら毎日の食卓に置いていただけると、話題にもしてもらえ。そこから湖国の住民としての郷土愛が、途切れずに繋がると期待しているのです。



琵琶湖八珍「隠れ」シリーズの商品

こうした商品開発は、コロナ以前から手がけていました。周囲の日本料理店が洋食の外食産業に押されて姿を消していく中、何とか生き残る方法を探りし

―産業支援プラザとの関わりは？

当初、私は父の下で、もっぱら料理人として厨房で働いていました。経営のことは本当に右も左もわからないまま、いざ、

自分が先頭に立たねばならぬという危機感だけはもっていたので、「滋賀県よろず支援拠点」を訪ねました。とにかく何を質問したらいいかわからない状態でしたから、言われたことに全部トライしました。

琵琶湖の食材を使った料理で湖国への郷土愛を涵養したい。その意志で料理をつくり、商品を開発していることをプレスリリースし各方面に繰り返し送ることで、積極的にPR活動を行いました。気持ちを惹く書き方や、写真の配置の仕方、専門のコーディネーターに指導いただきました。コロナ禍に遭っては、今だからこそすべきこと、そしてコロナ禍の後にすべきことをともに考えてくださいます。

自分が先頭に立たねばならぬという危機感だけはもっていたので、「滋賀県よろず支援拠点」を訪ねました。とにかく何を質問したらいいかわからない状態でしたから、言われたことに全部トライしました。

琵琶湖の食材を使った料理で湖国への郷土愛を涵養したい。その意志で料理をつくり、商品を開発していることをプレスリリースし各方面に繰り返し送ることで、積極的にPR活動を行いました。気持ちを惹く書き方や、写真の配置の仕方、専門のコーディネーターに指導いただきました。コロナ禍に遭っては、今だからこそすべきこと、そしてコロナ禍の後にすべきことをともに考えてくださいます。

―滋賀県内の中小企業へのメッセージを。

これまでも同業者とともに琵琶湖の味覚を楽しんでもらう取組や、農業高校の生徒たちと商品開発を試みるなど行ってきましたが、異業種間でもアイ

<PROFILE>

- 日本料理・湖魚料理 魚繁大王殿
- 代表者/岩崎 繁
- 所在地/滋賀県東近江市小脇町2323-1
- 創業/1970年
- 業務内容/日本料理・湖魚料理店、琵琶湖八珍選定の食材を使用しただし醤油等の商品開発、嚙下食の提供
- TEL/0748-23-5179
- URL/https://www.uoshige.info



問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 滋賀県よろず支援拠点
☎ 077-511-1425 ☎ 077-511-1418



サウンド・オブ・グリーン株式会社

代表取締役 **前川 知佐子**さん
ま え か わ ち さ こ

好きなこと、得意なこと、将来性のあることをビジネスに選択、手応えを確かめながら着実に前進!

魂 起業家

<PROFILE>

サウンド・オブ・グリーン株式会社
■代表者/代表取締役 前川 知佐子
■所在地/滋賀県大津市栗津町4番7号 石山駅前近江鉄道ビル5階
■創業/2018年11月
■事業内容/知的財産権関連調査・コンサルティング、IT関連ソフトウェアの受託開発、Web企画・制作及びIT関連書籍の企画・編集・制作、特許調査ツール販売代理店、ホリスティックヘルス事業
■URL/<https://www.sound-of-green.com/>
■兼任/職業訓練法人 日本技能教育開発センター講師
<https://www.jtex.ac.jp/products/detail/143>

保有する知的財産を適切に評価したい。それにより事業の成長性を予測するなど、知財情報を経営に生かしたい——独立・開業し、企業の潜在的ニーズに応えるコンサルティング業務に従事している前川さん。現在は、特許価値評価ツール導入の提案に加えて企業ごとのカスタマイズや新ツールの開発に注力。前川さんの提案に耳を傾け、契約に至る企業は確実に増えている。

■事業内容は?

企業の知的財産(以下、知財)情報やその管理に関し、特許調査や評価ツールの導入のお手伝いや、お客さま保有のシステムとの機能連携開発を行っている会社です。知財自体は昔からあるものですが、現在は、それを経営にどう生かすのかという視点で企業自身が分析や調査をする時代となりました。弊社は、そうした企業に役立つ情報を提供し、知財を分析・評価するお手伝いをします。

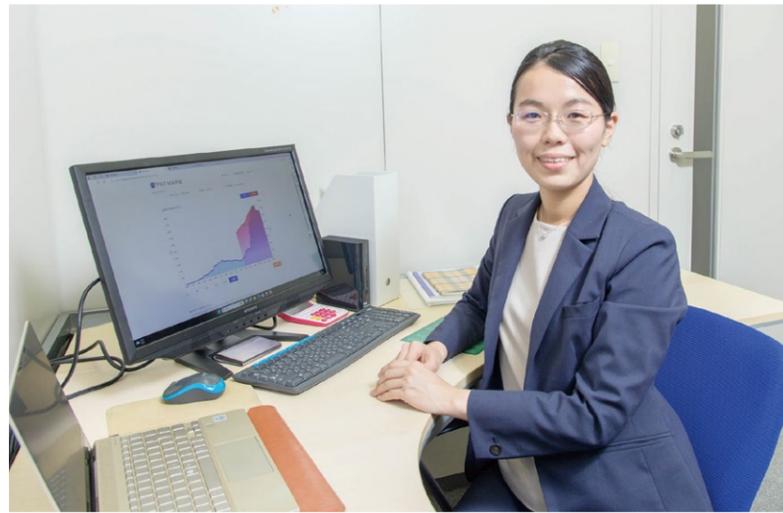
■なぜ起業しようと思った?

一番に、自身の生活環境の変

化がありました。よりフレキシブルに動ける体制——自分の時間を自分で組み立て、柔軟に動かせるかたちにする必要があったことが、起業を決意させました。特許をはじめとする知的財産権というものがビジネスにおいて非常に重要な意味を持っているということを知った経験から学び、役に立てることがあるのではないかと思い現在に至ります。

■産業支援プラザとの関わりは?

2018年11月に、創業オフィスへ入居しました。先述のような理由で起業を検討し始めて調べてみると、滋賀県にこのような施設があることを知り、足を運んでいろいろお話を聞きましました。担当者として奔走してくださるインキュベーション・マネジャーの存在が非常に心強いと感じ、入居を決めました。



■入居のメリットは?
産業支援プラザが媒介となり、多くの出会いを得られたことが最大のメリットですね。「創業オフィス」の入居者どうしの交流はもちろんです。産支プラザで開催されるセミナーなどには、滋賀県内だけでなく他府県からも聴講者が来られます。そうした際に幅広い分野のビジネスパーソンやスペシャリストと名刺交換をしましたが、それをきっかけに協力関係を築いたケースも少なくないのです。

■産業支援プラザから受けた具体的な支援は?

大きく助けられたのはやはり補助金関係です。申請書類の作成というのは、苦手な者にはこれほど難しいことはありませんが、とても丁寧にアドバイスをくださいました。それは、サウンド・オブ・グリーンが、知財情報の管理や評価ツールの開発について非常に深く理解くださっているからこそなのだと思います。書類上の表現ひとつにしてもよく知ってくださっているとわかります。

また、普段の業務において交渉に行き詰まった時や、新しい企画提案へのもうひと押しに悩んでいる時にも、内容をよく理解したうえで的確な助言をくださいました。

■サウンド・オブ・グリーン株式会社の強みは?

近年、企業では、知的財産権の情報を分析し、その結果を経

営戦略の策定や企業の意思決定のために活用するといった動きが活発化しており、重要度も増しています。アクロソフト株式会社と工藤一郎国際特許事務所が共同開発した特許価値評価ツールPATWARE(パットウェア)導入を推奨し、経営に生かすための情報を提供しています。

特許など知財は無形資産に該当します。つまり目に見えない技術情報なので、正確に評価することは難しいのですが、2021年にコーポレートガバナンス・コードの改訂が東京証券取引所から公表されました。どういふことかと言うと、企業に知財情報開示が義務づけられたのです。知財情報も、きちんと

と経済的な意義を持つ指標を示して、株主総会など企業が経済活動報告をする機会には適切に報告しようという方針に改訂されたのです。

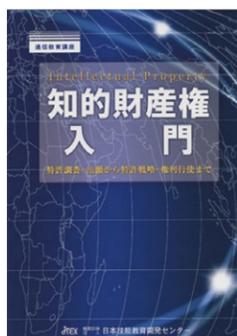
以来、企業からの問い合わせが増えました。評価ツールPATWAREは客観的な手法で分析・評価し、結果を視覚化し、ツールの価値が認識され、必要とされていることに手応えを感じています。

■今後の展望は?

とくに力を入れているのは、顧客が使いやすいようにツールをカスタマイズすることです。知財について企業がどう考えているのか、どう使おうとしているのかは、企業によって異なります。同企業内でも研究開発部の考え方と知財部の考え方は違うでしょうし、また企画部や経営層の考え方も、実務において異なる部分があると考えています。各企業、各部門にヒアリングをして、こういう機能がツールに欲しい、といった要望をしっかりとらえ、カスタマイズの提案をしていきます。

同時に、JTEX(日本技能教育開発センター)の講師も務めているので、知財が大切だということを伝えていきたいです。

■起業を目指す人にアドバイス
起業する前も後も、迷うことが多いと思います。でも、迷うことを拒まないで言いたいことです。目の前には起業のことであれ、私生活のことであれ、必ずやるべきことがありますから、迷いながらもそれらを着実にこなしていく。そのプロセスで、先輩ビジネスパーソンや専門家の助言を得る場をもつようにするとよいと思います。そのためにも積極的に、産業支援プラザに足を運んでください。ただ担当の方と話をするだけでも、ヒントを得たり、ひらめいたりすることがあります。私もそんなことを繰り返して、絶対大丈夫と念じながら、現在に至っています。



「人」は付加価値の源泉。 人への投資促進で 事業成長を目指す!

人的資本経営とは?

近年注目を集めている「人的資本経営」。経済産業省は「人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方」と定義しています。2023年3月期決算から対象企業に人的資本の情報開示が義務化され、対象でない企業もその取組が重要視されるようになりました。「生産性の向上」「企業ブランドの向上」「従業員の能力の可視化」「ワーク・エンゲージメントの向上」などのメリットがあるものの、何から着手すればよいかわからない企業も多いのではないのでしょうか。

そこで今回は、「自然・地域との共生」「感謝の心」「主体性」「幸福」を主眼に人材の価値を高め、多様な商品開発や真心のこもった接客で、多くの顧客の共感を得ているたねやグループの、小玉恵さんに具体的な取組事例について伺いました。

たねやグループ（和菓子・洋菓子の製造販売）
執行役員 経営本部 本部長 **小玉 恵** 氏
こたま めぐみ



昇進は年功序列ではなく、年2回の上司との面談のほかに、チャンスをとくさん用意しています。例えば、ポップアップストア（期間店舗）の店長は、チーム作りから普段とは違う催事商品の売上拡大の工夫までを自らが採配し、慣れない外部環境に揉まれながら達成感を味わうという、既存店舗にはない経験を経験することができます。この経験は自身のキャリアに繋がりますし、我々にとっては既存店長の次期候補として考える目安になります。また、グループのフラッグシップ店でもあるラ・コリーナ近江八幡は、「自然を愛し自然に学び人々が集う場」というコンセプトのもと、たねやグループの思いを具現化したもので、敷地中央の一等地に約4,000㎡の田んぼを有しています。入社2年目の社員が、ここで田植えから稲刈りまでを経験し、菓子の原材料となる自然の恵みを加工させていただく感謝の念を、米一粒を育てる苦労や大切さから得る「学びの田んぼ」です。



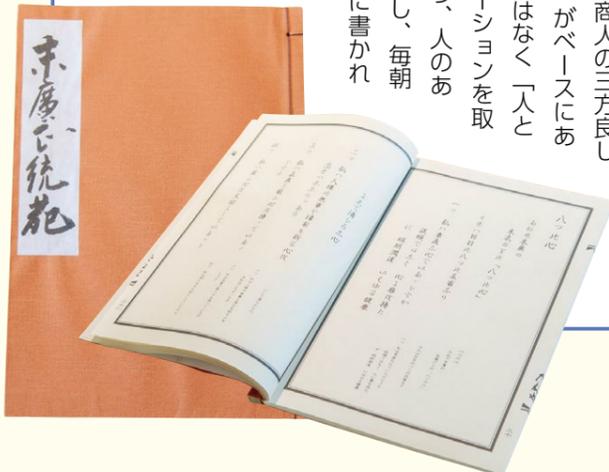
豊かな自然と調和・共生するラ・コリーナ



人事制度や社員育成における特徴は?

たねやグループの企業文化・理念とその共有は?

たねやは近江の地に育てていただいた菓子舗で、我がふるさとの季節・風土という自然や地域、人を大切にしながら持続可能な価値を創造しようとしています。近江商人の三方良しを理念に、先代がまとめた「末廣正統苑」がベースにあります。これは「いかに商品を売るか」ではなく「人として、自然や周りに感謝し、「コミュニケーションを取りながら仕事に取り組みましよう」という、人のあべき姿を訓えた一冊で、全従業員に配布し、毎朝夕、全員で唱和します。始業前は、そこに書かれている「八つの心」（素直な心、人様の無事と幸せを祈る心、など）を唱えて仕事のスイッチをオンにし、終業時には「八つの心」を実践できたか振り返ります。悩んだときに立ち帰るバイブルでもあります。



新入社員にはどのような教育を?

個性やクリエイティビティを失わぬよう、マニュアル的な研修ではなく、現場で若手の先輩が行う新入社員のペースに合わせたマンツーマンの指導をメインにしています。実際はその指導員も未熟なため、ベテラン社員がフォローし、各々の成長に繋げるという教育方法です。一冊のノートを紹介して目標や達成度などを共有し、職場環境に早く馴染むことができている。指導員は、その後何年経っても何かあれば相談できる頼れる先輩であり続けているようです。

2021年に新設された「しあわせ推進室」とは?

人事・教育から独立した、「従業員のしあわせを考える」部署です。多様性を尊重し、出産・介護時の家庭との両立や、従業員の心身の健康を考え、長く働きやすい職場づくりをしています。弊社は女性従業員の比率が76%と高く、常に500~1000名が育休中ですが、出産後の復職率はほぼ100%。産前産後のサポート、育休中のママサロンやリモート保育園、オンライン相談、パパ育休取得の推進などが功を奏しているのです。また、室長は従業員全員とのコミュニケーションが取れているので、所属長に直接言えない悩みなども聞いてもらえる息抜き場にもなっています。



今後どのように「人的資本経営」を進めますか?

大量消費の時代から、「一つのもの大切に使う」「人の気持ちに寄り添う」ことに価値が生まれる時代が変わってきていると感じています。私たちが心を込めて作る小さな一つひとつのお菓子にも、その背景に自然、環境、地域、人という広範な関わりがあることを添えてお客様に届け、幸せを感じながら召し上がっていただくと嬉しいです。大企業のような大量採用や優秀な人材を探ることより、誰もが持っている光る部分を引き出し、そこでも持ち味を活かした万能的組織を作りたいと考えています。今後、従業員が個々の力を十分に発揮できる環境作りを大切にしていきます。

2025年春オープン予定の「ラーゴ 大津」について

ラーゴ (LAGO) はイタリア語で「湖」です。琵琶湖を一望する大津市由美浜に、お菓子を提供する店舗に加え、大津の歴史・風土・伝統を語る「人」や「地域」が主役となるプラットフォームを作ります。里山に息づく固有種や琵琶湖の風景を楽しんでいただけるよう、エコツアーや環境プログラムにもチャレンジします。ご期待ください。

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 総務企画部 情報企画課
☎ 077-511-1411 📠 077-511-1418



しがのミカタ

滋賀県のさまざまな中小企業支援機関を紹介する「しがのミカタ」。今回は、今年2024年に開設30周年を迎えた立命館大学びわこ・くさつキャンパスを紹介します。

受託・共同研究からベンチャー育成までワンストップ！ 産学官が行き交う知の宝庫が描く未来百年構想



立命館大学は、3万5千名以上の学生・教職員が、衣笠、びわこ・くさつ、大阪いばらき、朱雀の4キャンパスで学びや教育・研究を進めています。びわこ・くさつキャンパス（BKCC）は、文理融合型で、びわこ文化公園都市に隣接し、産・学・官との連携による研究や新産業の創出に力を入れているのが特徴です。独自の産学官連携スキームを確立し、積極的な取組を続けてきた、野口義文理事・副学長にお話を聞きました。



立命館大学びわこ・くさつキャンパス
約14,000名の学生が約61万㎡の広大な敷地で学んでいる。

学校法人立命館 立命館大学

理事・副学長
野口 義文 さん
のぐち よしふみ

―BKCC開設、産学官連携オフィス設置の経緯は？

もともと衣笠にあった理工学部が手狭になり拡充移転を考えていたところ、滋賀県と草津市から多大な支援を受け、1994年、BKCCを開設しました。早速、教員と職員がチームを組み、企業訪問を開始。共同研究の呼びかけと、地域の特徴

を加味した産学官連携の拠点づくりへの協力を求めたこの「教職協働」の成功事例は、今も学園全体に継がれるポリシーとなっております。

1995年、全国の大学で産学官連携活動の先駆けとなった「BKCCリエゾンオフィス」を設置。現在は「BKCCリサーチオフィス」に名称を変え、研究交流や

―BKCCに属する学部・大学院は？
16学部21研究科のうち、現在

を、周辺知識から複合的にチョイスする能力に長けており、俯瞰的に新たな価値を提案できるイノベーション人材と言えます。本学が常に一歩先を行ける理由は、コーディネーターの情報収集力と迅速な行動力にあるといっても過言ではありません。企業とともに成果創出まで伴走する、産学官連携のシェルパ役です。「産学官連携は「人」なり」「産学官連携の神様は汗をかいたものにこそ微笑む」という格言をコーディネーターに伝えています。

BKCCには理工学、経済学、生命科学、薬学、スポーツ健康科学、食マネジメント学の6学部6研究科があり、先端科学と社会科学がクロスする「文理融合型キャンパス」で、新たな研究の萌芽を目指しています。

―琵琶湖南部エリアに位置する利点は？

滋賀県には、交通の要衝である地の利、琵琶湖を擁する水の利、生産拠点が集積する産の利、

人口自然増減率高位の人の利、自然災害が少ない土の利があると思います。

BKCC近郊には、滋賀医科大学、龍谷大学瀬田キャンパス、京都大学生態学研究センターなどの教育・研究施設のほか、文化・教養施設、福祉・医療施設、大企業の工場・研究開発拠点多く立地し、多様な連携ができる環境です。一例として、2022年、滋賀県、滋賀医科大学、龍谷大学および本学で「びわこ文化公園都市における研究の連携・協力に関する協定」を締結し、健康寿命の延伸やWell-beingな地域づくりなどを進めています。

―「グラスルーツ・イノベーションセンター」の新設は？
経済産業省の「地域の中枢大学等のイノベーション・産学融合拠点の整備」事業に採択され、2025年3月、大学全体をリビングラボとして滋賀県の課題解決とスタートアップ創出に貢献する、県内初のものづくりのオープンイノベーション拠点が完成します。「草の根（グラスルーツ）」的に地域の中小高大学生、起業を目指すシード・アーリー期の人材、経営人材、支援人材などの参画により、情報を集積し資金を循環させます。ワー



グラスルーツ・イノベーションセンター（イメージ）

クショップや経営人材育成プログラムなども準備します。
拠点活用後は、同じキャンパス内にあるBKCCイノベーションという起業オフィスに入居し、事業化を加速できます。登記ができ、イノベーションマネージャーによる支援もあります。第二創業を目指す中小企業の入居も可能です。

われる百年構想で進めなくてはならないと思っています。今後手を携えたい中小企業の皆さんに、私の希望を交えた3つのメッセージを伝えます。
①大学の敷居は決して高くありません。人材、場所、シーズ、海外展開、キャリア支援、産学連携（橋渡し）などあらゆるメニューが揃つ、まさに「うちでのごつち」です。本学全体で1,400名もの研究者による知的資産を活用しない手はありません。

②学生には、もっと滋賀のよさを理解し根付いてほしいと願っています。そのために県内の初等・中等・高等教育機関とも連携したいと思えます。
③滋賀に人を呼び込む磁場を生み出し、人の流動性を高めるメカニズムをつくりたいと考えています。



―産学官連携の特徴は？
本学は「民間企業からの受託研究実施件数」（文部科学省調査）で常に全国高位の実績を誇りま

す。これを支えているのは、URAやTP（テクノプロデューサー）と呼ばれる、産学官連携コーディネーターです。企業

―BKCCの未来像は？
「地域創生」は、「リレー」で謳

立命館大学は、私立大学ならではの特性を生かし、先進的・先導的に常に挑戦し続けていきます。今後も積極的に大学を外に開き、多彩な他者連携で産学官のサイクルが加速する「しがのミカタ」でありたいと思っています。

* URA (University Research Administrator)
大学などの組織において、研究資金獲得、研究活動のマネジメント、産学連携、成果の活用促進を行い、研究の活性化を支える人材

滋賀ものづくり企業 受発注マッチングサイト Lim/S (リムス)

滋賀ものづくり企業の販路拡大を目指して!

全国の企業からの具体的な発注案件と、それを受注する滋賀県内企業との取引の活性化を目的としたマッチングサイトです。
発注企業(国内)、受注企業(県内)の皆様のご登録をお願いします。

滋賀ものづくり企業 受発注 マッチングサイト **Lim/S** Link Manufacturing SHIGA

発注 情報掲載 企業 募集中! 今すぐご覧ください

受注 情報掲載 企業

受注 登録 企業

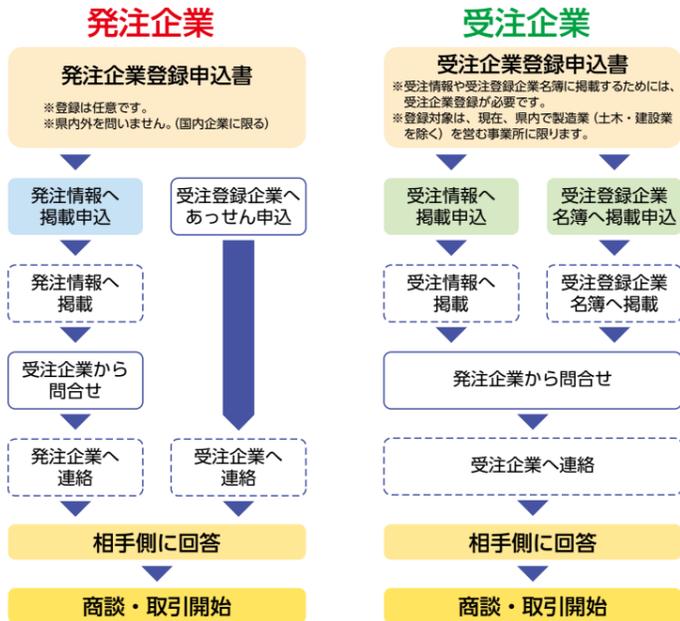
Lim/S (リムス)とは
 全国の企業様からの具体的な発注案件と、それを受注する滋賀県内企業との取引の活性化を目的とした、製造業受発注マッチングサイトです。

発注企業から探す
 発注情報を探し、発注先候補を絞り込む

受注企業から探す
 発注情報を探し、受注先候補を絞り込む

受注登録企業から探す
 発注情報を探し、受注先候補を絞り込む

Lim/Sの3つの機能



点線部分は、産業支援プラザが行います。

問い合わせ先 **経営支援部 販路開拓課** ☎ 077-511-1413



中小企業の CO₂ 削減取組伴走支援事業

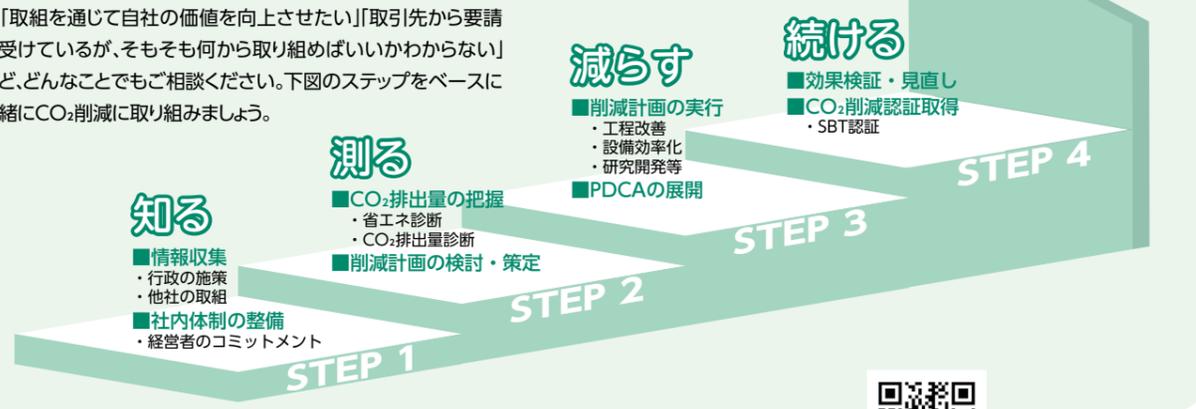
CO₂ 削減を力に! 企業価値の向上へ!

サプライチェーン全体での脱炭素が求められる中、企業価値を左右する中小企業の脱炭素への取組をコーディネータや専門家が伴走支援します。



自社のCO₂削減に向けたステップ

「取組を通じて自社の価値を向上させたい」「取引先から要請を受けているが、そもそも何から取り組めばいいかわからない」など、どんなことでもご相談ください。下図のステップをベースに一緒にCO₂削減に取り組みましょう。



問い合わせ先 **連携推進部 CO₂ネットゼロ支援室** ☎ 077-511-1424



滋賀県プロフェッショナル人材 戦略拠点による副業人材の紹介

“人に投資し、人を大切に”を企業と共有!



滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点は、2015年の開設から10期目を迎え、累計相談件数5,163件(全国2位)、マッチング件数1,334件(全国5位)の実績を上げています。特に**副業・兼業人材**については、累計成約件数100件のうち、2023年度は成約件数54件と急増している状況です。

企業の成長戦略として、“人的資本経営”の重要性がクローズアップされている現在、進化(深化)を目指す当拠点を今後も積極的にご活用ください。



2023年度実績 (2024年3月末現在)

…相談件数: 988件 (全国3位)
 取次件数424件
 成約件数: 304件 (全国5位)
 (うち、雇用250件、副業・兼業54件)

拠点開設以来累計実績 (2024年3月末現在)

…相談件数: 5,163件
 成約件数: 1,334件
 (うち雇用1,234件、副業100件)
 成約率: 25.8%

副業人材の活用事例: S社

(鉄道電気設備(信号、通信)の工事施工、設備検査業務)

相談内容

業績は安定しているが、世代交代を含め次世代に向けて新規事業を展開したい。

提案事項

- ① 社内プロジェクトチームが「安全マニュアル」を作成し、マニュアル作成ビジネスにつなげる。マーケティング活動を**副業人材(N社)**に委託
- ② 既存の電気技術を活用した新規発電事業の立ち上げを、**副業人材(民間人材ビジネス事業者)**に委託

⇒新たな人材雇用までのつなぎとして、**副業・兼業人材**が、ロードマップ(企画・立案・事業化)の作成からビジネス化までを担う。

副業人材の活用事例: Y社

(木材・段ボール・スチール製の各種梱包商品の設計・生産・組立)

相談内容

新工場の完成に合わせ、情報共有基盤の整備が急務。現場情報の一元化と業務の可視化・簡素化を実現したい。

提案事項

- ① 人材育成、外部専門家による研修、先進企業の視察
- ② 自動データ取込システムの開発を、**副業人材(県内のスタートアップ企業)**に委託
- ③ ローコード開発、クラウド基盤を用いたシステム開発等

⇒業務効率化と情報共有の改善による生産性向上、社内のIT人材育成を、**副業・兼業人材(県内のスタートアップ企業)**が担う。

問い合わせ先 **滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点** ☎ 077-511-1419



開催予定日	イベント・セミナー名/会場	概要/対象	担当課
6月 4日(火) 6月11日(火) 6月18日(火)	アントレプレナー養成講座 ビジネスモデル基礎 ②～④(全4回) ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	自社のビジネスを持続させるために、ビジネスモデルの基礎的なフレームワークの使い方を知り、持続可能なビジネスを考えていく講座です。 ◆対象: 起業家、起業準備者	創業支援課
6月 5日(水) 8月 2日(金) 10月 3日(木)	プレゼン発表会 ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	創業プラザ滋賀の利用者、BizBase コラボ 21 の利用者等のプレゼンを聞き、プレゼンターの課題の解決策を参加者と一緒に考えるイベントです。 ◆対象: 起業家、起業準備者	創業支援課
6月25日(火)	「生産性向上」&「DX推進」セミナー 中小企業の持続的成長に必要なものとは～DX・AI時代のブランド戦略～ ◆会場: コラボしが21 3階 大会議室	中小企業の成長に必要な不可欠なDX・ブランド戦略を後押しするセミナーです。「DX・AIの始め方」についての講演や、既にブランド戦略やDXに取り組まれている県内企業の実践例の紹介をします。 ◆対象: どなたでも参加可能	しが産業生産性向上経営改善センター イノベーション推進課
6月28日(金)	製造業向け営業力UPセミナー ◆会場: コラボしが21 3階 中会議室1	商談会で受注企業が成約に繋げる方法を学ぶことができるセミナーです。 ◆対象: 商談会に参加する受注企業	販路開拓課
6月28日(金) 7月 5日(金) 7月12日(金)	北部地域起業家育成支援事業出店準備セミナー ◆会場: 滋賀県立文化産業交流会館(米原市)	北部マーケットの出店に向けて、商品作りや決済方法等の準備について学ぶセミナーです。 ◆対象: 北部地域(長浜市、高島市、米原市)で創業を目指す方等	創業支援課
7月 4日(木) 9月 4日(水)	ピッチ交流会 ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	県内事業者による3～5分程度の事業のピッチ(ショートプレゼン)後、参加者同士の相互の親睦を図るイベントです。 ◆対象: 県内事業者	創業支援課
7月 9日(火)	アントレプレナー養成講座 Instagramビジネス初心者 ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	インスタでビジネスをするために最低限必要な情報を、ワークを含めながらお伝えします。 ◆対象: 起業家、起業準備者	創業支援課
7月 9日(火)	りっとう経営ミニセミナー ◆会場: 栗東市役所 2階 第3会議室	今なら補助金を使って省力化できるチャンスです。中小企業省力化投資補助事業やIT導入補助金についても説明します。 ◆対象: 栗東市内の事業者	よろず支援拠点
7月10日(水) ～11日(木)	しがビジネスマッチング会in草津 ◆会場: 草津市立市民総合交流センター(草津市) 大会議室	ものづくり企業の新規取引拡大のためのビジネスマッチング会です。 ◆対象: 県内受注登録企業	販路開拓課
7月16日(火) 7月23日(火)	アントレプレナー養成ミニセミナー Instagram運用基礎①②(全2回) ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	Instagramの運用の基礎を学ぶ講座です。 ◆対象: 起業家、起業準備者	創業支援課
7月18日(木)	滋賀県中小企業経営基盤・技術向上等研究会 ◆会場: ホテルニューオウミ(近江八幡市)	総会および第1回研究会です。 ◆対象: 研究会会員	販路開拓課
7月19日(金)	第1回オープンイノベーション推進シンポジウム ◆会場: コラボしが21 3階 大会議室	オープンイノベーションを通じて新技術や新製品の開発をリードする企業や講師により、企業のイノベーション促進を後押しする講演会です。 ◆対象: どなたでも参加可能	イノベーション推進課
7月予定	第1回AI・IoT普及セミナー ◆会場: コラボしが21 3階 大会議室	AI・IoTなど最新のデジタル技術を学び、企業のDXを後押しするセミナーです。 ◆対象: しがオープンイノベーションフォーラム会員(当日入会可能)	イノベーション推進課
8月 6日(火) 8月28日(水) 9月10日(火)	アントレプレナー養成ミニセミナー ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	8/6(火)チラシ作り基礎、8/28(水)スマホで商品撮影基礎 9/10(火)リール集客の基礎知識 ◆対象: 起業家、起業準備者	創業支援課
8月予定	しがオープンイノベーションフォーラム 異業種交流会 第2回定例会 ◆会場: 未定	異なる業種の企業等が集い、講演や現場見学、会員間の意見交換を通じて相互の発展を目指します。 ◆対象: 異業種交流会 Biwa_connex 会員	イノベーション推進課
8月予定	第1回医療機器開発セミナー ◆会場: 国立大学法人滋賀医科大学(大津市)	新たな医療機器開発に意欲的な企業を対象とした、医療機器開発のための実践的な知識を学ぶセミナーです。 ◆対象: しがオープンイノベーションフォーラム会員(当日入会可能)	イノベーション推進課
8月予定	中小企業のCO₂削減取組伴走支援事業セミナー(仮称) ◆会場: コラボしが21 3階 大会議室	中小企業のCO ₂ 削減取組事例を紹介します。 ◆対象: 県内事業者	CO ₂ ネットゼロ支援室
9月 6日(金)	北部で起業した先輩起業家に聞く! ◆会場: 高島市観光物産プラザ(高島市)	北部地域で活躍している先輩起業家の話を聞きます。 ◆対象: 北部地域(長浜市、高島市、米原市)で創業を目指す方、創業後間もない方等	創業支援課
9月24日(火) 10月 8日(火) 10月22日(火)	アントレプレナー養成講座 ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	9/24(火)・10/8(火)Canva 講座(全2回)、10/22(火)財務諸表基礎 ◆対象: 起業家、起業準備者	創業支援課
9月予定	プロ人材活用セミナー ◆会場: 未定	北部地域の集客、デジタル化、副業をテーマとしたセミナーです。 ◆対象: 北部地域の中小企業	プロ人材戦略拠点
10月 2日(水)～ 4日(金)	第27回機械要素技術展[大阪] ◆会場: インテックス大阪(大阪市)	県内中小企業の秀でた製品・保有技術を展示し、県内外を問わず幅広い川下企業との技術マッチングを行います。 ◆対象: しがオープンイノベーションフォーラム会員の県内中小企業	イノベーション推進課
10月 8日(火)	デザイン・コピーの基礎知識 ◆会場: コラボしが21 3階 中会議室2	デザイン・コピーについて、総合広告代理店出身者が基礎知識をお伝えします。 ◆対象: 中小企業、小規模事業者	よろず支援拠点
10月22日(火)	展示会出展の基礎知識 ◆会場: コラボしが21 3階 中会議室2	展示会出展について、総合広告代理店出身者が基礎知識をお伝えします。 ◆対象: 中小企業、小規模事業者	よろず支援拠点

